

大阪府建設事業評価委員会 平成21年度事後評価点検一覧

| 番号 | 類型 | 事業名 〔所在地〕 | 概要 | 事業採択 年度 | 直近の 評価年度 | 完成 年度 | 事業費 | B/C、定量的効果等 | 評価時の意見など | 確認内容 |
|----|--------|---|--|------------|-------------|--------------|------------------|---|--|---|
| 1 | 施設整備 | 府立大学 工学部学舎建替事業 〔堺市中区〕 | 構造：RC造6階 建築面積 3,596㎡、 延床面積19,966㎡ | H13 | 事前評価 H13 | H16 | 68億円 (94億円) | 志願者数 H16:5760人 H21:5959人 外部研究資金の 獲得額 H16:約8億円 H20:約16億円 | 必要不可欠な機能・規模の精査検討などトータルコストの縮減に努力 府立大学基本計画、キャンパス・プランの策定において、本建替施設の位置づけ等を検討 大学当局と十分な協議調整を要望 | 事業費の減少 ・実施設計時に最低限不可欠な整備内容を精査するなど事業費25億円を削減 事業効果の検証 ・当初計画時の老朽化、狭隘化を解消し、快適性、安全性を確保した。また、高い志願者倍率(9倍前後)を維持しながら、共同研究費等の外部研究資金の獲得額を大幅に伸ばすなど、研究施設、教育施設としての機能を果たしている。 意見への対応 ・H18にキャンパスプランを策定し、可能な限り改修で対応することを基本とした。以降同種事業の予定はなし。 |
| 2 | | 府立高等職業技術 専門学校再編整備事業 (南大阪校) 〔和泉市〕 | 管理棟RC造3階、 実習棟RC造1階 敷地面積26,953㎡ 延床面積10,591㎡ | H15 | 事前評価 H15 | H17 | 48億円 (50億円) | 就職率 H18:78% H19:84% | 路線バスの増便など公共交通アクセス機能の向上が必要 | 事業効果の検証 ・通信系、環境系の科目を中心に職業訓練を実施し、就職率は高く成果を上げている。応募倍率も高く施設の稼働は良好である。 ・併設する人材開発センターの利用者が増加し、技能検定等の支援・拡大により民間における職業能力開発への支援が充実している。 ・地域連携事業として地元企業団体等と講習会等を開催し、地域との連携強化を図っている。 意見への対応 ・路線バスの増便により利便性の向上が図られている。 |
| 3 | 保安林管理道 | 大木地区 〔泉佐野市〕 | 管理道 延長2.1km、幅員3.5m 当初延長3.0km | H7 | 再評価 H12 | H16 | 5億円 (6億円) | 森林整備 4.7ha 48%進捗 | - | 事業費の減少 ・計画縮小し、治山事業に切り替え。保安林管理道整備から計画を見直し総合的・多面的にすすめる 治山事業を選択(注) |
| 4 | | 父鬼地区 〔和泉市〕 | 管理道 延長2.4km、幅員3.5m 当初延長4.3km | H8 | 再評価 H13 | H16 (H17) | 5億円 (9億円) | 森林整備 24.7ha 34%進捗 | 森林への影響を最小限とする工夫 今後の同種事業は、代替的手法を比較し十分検討 費用便益分析は、今後さらなる改善努力 | 事業費の減少 ・計画縮小し、治山事業に切り替え。保安林管理道整備から計画を見直し総合的・多面的にすすめる 治山事業を選択(注) 事業効果の検証 ・本事業により一定の森林整備は進み、効果は出ているといえる。 意見への対応 ・今後は、治山事業の導入により、引き続き保安林機能の維持・増進を図るための整備を推進する。 |
| 5 | 農空間 | 地域総合オアシス 整備事業太子地区 〔太子町〕 | ため池改修7箇所、 親水景観整備1式 | H8 | 再評価 H12 | H16 (H15) | 8億円 (6億円) | 年間訪問者 約1,000人 | 今後、同種事業の再評価は事業採択後10年を経過した時点とすべき | 事業費の増加 ・4箇所のため池で堤体の土の一部を他の現場から転用することから購入へ変更し、また、1箇所のため池で現地再調査の結果改修箇所の追加が発生し2億円の増額 事業効果の検証 ・本事業により、水稻収穫の実績から一定安定供給が図られているといえる。 ・ため池改修後の漏水はなく、一定数の訪問者もあり、維持管理のための地元コミュニティも形成されており、効果はある。 ・完成後の維持管理における地域の役割や、利用・管理に適した個別の同種事業については、計画段階から関係者と十分に協議していく。(注) |
| 6 | | 水質保全対策事業 石川深溝地区 〔藤井寺市、羽曳野市、富田林市〕 | 水路工3.8km、 水質浄化施設8箇所、 ため池浄化浚渫16箇所 | H5 | 再評価 H15 | H16 | 24億円 (25億円) | 全池で水質基準達成 | 工事進捗が8割を超え、投資効果の面からも事業の早期完成が必要 | 事業費の増加 ・再評価は事業採択後10年を経過した時点で実施することとしている。 |
| 7 | 街路 | 枚方中宮線 〔枚方市〕 | 延長1.1km、幅員18m | H3 | 再評価 H12 | H17 (H15) | 88億円 (87億円) | B/C H12:1.76 H21:1.49 | - | 事業効果の検証 ・依然として本路線の混雑度は高いが、徐々に駅周辺の交通の分散化が図られおり、本路線と並行する道路の混雑が緩和されてきている。 ・電線共同溝増設により1億円の増。結果電柱約50本が撤去され、災害活動等の円滑化、景観の向上に寄与。 ・完成後の交通量や、混雑度といった数値は、周辺状況や前提条件を分析する必要がある。府民にわかりにくい。今後は、よりわかりやすい指標である、交差点の滞留長、踏切の滞留長、旅行速度などの調査が必要。 |
| 8 | | 深北緑地 〔寝屋川市、大東市〕 | 都市計画決定面積44.7ha 開設面積41.0ha 未開設3.7haの池は河川管理者と開設時期について協議中 | S57 | 再評価 H15 | H18 (H17) | 183億円 (190億円) | 来場者数 H13:68万人 H18:57万人 | H15(良好な自然環境の保全と活用を図る施設整備に努め、ボランティアの育成といったマネジメントの費用を考慮した事業推進も要望) | 事業効果の検証 ・来場者数は、当初の見込みどおり着実に増加 ・13回洪水調節池として機能。ワークショップは年5回程度開催 意見への対応 開設後の継続的なボランティア活動の推進に計画段階から調整、実施 |
| 9 | 河改川修 | 千里川 〔豊中市、箕面市〕 | 護岸工:3.7km、道路橋:6橋 (時間雨量50mm対策) | S43 | 再評価 H12 | H16 (H15) | 54億円 (61億円) | B/C H12:73.4 H21:82.7 | H12(早期に完成し、事業効果を発揮させるべき) | 事業費の減少 ・一部既設護岸を活かした河床掘削で対応 |
| 10 | | 免除川 〔交野市〕 | 渓流保全工350m | S63 | 再評価 H15 | H17 (H16) | 10億円 (10億円) | B/C H12:6.44 H21:6.39 | - | 事業効果の検証 (以下砂防事業3件同じ) ・完成後、土砂災害は発生していない。 ・土石流危険渓流1009箇所、急傾斜地崩壊箇所683箇所のうち、予算の範囲内で優先度、危険度が高いところから実施。 ・合わせて、ハザードマップの配布などソフト対策で土砂災害に対する啓発を行う。 |
| 11 | 砂防 | 寺川 〔大東市〕 | 渓流保全工354m、 砂防えん堤1基 | H6 | 再評価 H15 | H18 | 13億円 (10億円) | B/C H12:3.92 H21:3.20 | - | 事業費の増加 ・上流で法面崩壊、緊急工事を追加 |
| 12 | | 唐川 〔太子町〕 | 渓流保全工754m | H7 | 再評価 H16 | H17 | 9億円 (9億円) | B/C H12:1.37 H21:1.35 | H16(計画的に進捗し、投資効果の面からも事業の早期完成を要望) | - |
| 13 | | 雨山川 〔熊取町〕 | 渓流保全工1,900m | S46 着手 | 再評価 H15 | H17 (H24) | 9億円 (10億円) | B/C H12:12.1 H21:13.4 | - | 完成年度の繰上げ ・長期間を要していたが、重点配分して早期効果発現に努めた。 |

年度、事業費の()は前回評価時の数値。

(注)最後の再評価時点でのB/C算出根拠資料が保存されていなかったため、今後は事後評価が終了するまで、関係書類を保存するよう周知徹底を図ります。